

◆ 平成28年度諮問事項
「町家の保全・活用のあり方について」

◆ 検討の視点

全般

- 町家活用も視野に入れた今後の取組のあり方、住民意識の向上、多くの人を呼び込むために必要な周辺地域でのしかけづくりについて

町家の保全・活用

- 町家の保全・活用に関し、借り手と貸し手をつなぐマッチングを行うようなしくみづくり
- 地域貢献に資する施設への町家の活用について
- 町家の情報を集約・提供する施設について
- 町家の多い地域への集客をどう図るのかについて、近隣の大型商業施設等との連携について

大道筋の「場」づくり

- 区民評議会と大道筋の場が連携しつつ、大道筋について議論を深めることが必要。

区民意識の向上

- 自ら景観に配慮した建物を建てるなど、地域の人を取り組んでいることを応援するしくみづくり

◆ 方向性

町家の保全・活用の取組

- 民間主体による町家の活用に向けたしくみを構築
- 歴史的価値のある町家の保全
- 「町家のよさを知る」きっかけづくり

(町家の保全・活用と合わせて取組むべき)

周辺環境の整備

- 大道筋を魅力ある通りにする取組を継続して実施
- 来訪者が快適に過ごせる空間の整備や情報発信の強化
- 大道筋において、区民、事業者・企業、活動団体などが集まり、まちづくりを進める「場」づくりを推進

まちづくりに関する区民意識向上に向けた取組

- 地域の歴史的・文化的資源に対する理解を高めることで、シビックプライドを醸成

◆ 取組案

- ・ 町家に係る相談窓口、マッチング等を大道筋に設置する「場」において検討・実施（中期）
- ・ 歴史的価値のある町家等の修復（中・長期）
- ・ 町家のよさを実感できるイベント等の実施（短期）

- ・ 沿道の緑化、美化活動の推進（短・中期）
- ・ 案内板などの整備（中期）
- ・ 沿道景観の形成（中・長期）
- ・ 歩道空間の整備（中・長期）
- ・ まちなかでの観光情報発信ツールの充実（中期）
- ・ 寺社を活用した取組の推進（短期）
- ・ 自転車のまちを想起させるイベントの実施（短期）
- ・ 広い歩道を活用した各種イベントの実施（短・中期）
- ・ 民間主体でまちづくりの検討・実施をすすめる組織づくり（短・中期）

- ・ 歴史・文化に関する地域教育の充実（短・中期）
- ・ まちづくりに関する取組の表彰制度の創設（短期）
- ・ 地域の魅力的な資源をホームページ等を通じ、紹介（短期）

民間、協働、行政（関係部局・堺区）がそれぞれの取組について、役割分担をしながら実施。